

交通社会実験結果がまとまる

# 歩いて安心な道へ

# 神門通りの道づくり

其の  
六

平成 23 年  
2 月 10 日

島根県  
出雲県土整備事務所  
都市整備グループ  
電話：30-5666

## 住民・観光客は好評価

十一月二十五日から二十五日まで、神門通りの交通社会実験が行われ、安心して歩けるよう歩道を拡幅するとともに、車のスピードを落とすため、車道を七mから五mに狭める取り組みが行われました。

実験期間中は、空き店舗を活用したPR館での広報活動や、アンケートの実施、地元のみちづくり団体がベンチを設置して道行く人達が休憩できるようにするなど、様々な試みがなされました。

実験の効果や課題を確認するため、住民アンケート、観光客アンケート、バス運転者へのアンケート、車の速度調査、歩行状況調査なども行いました。



心配された車の通行性については、渋滞は特に発生せず、一般車の交互通行に支障はなく、車の速度が低下する効果が確認されました。

歩行者へのアンケートでは、「歩きやすくなった」という声が多数ありましたが、一方でバスの運転者からは、「走行環境が悪くなった」という意見も寄せられました。バスのすれ違いについては、改善策を関係機関と協議していきま。今回の道づくりとして、歩道を拡げ車道を狭めることについては、住民の6割、観光客の8割以上の方々から賛成の評価をいただきました。

この実験結果を踏まえ、島根県では、社会実験と同じ歩道幅、車道幅で整備を進めることとします。

## 道づくりPR館で各種アンケート

神門通り沿いの空き店舗を活用して、交通社会実験期間中に、PR館がオープンしました。PR館では、社会実験の詳しい紹介のほか、観光情報の提供、アンケートの実施、そして温かいお茶のサービスなどを実施しました。



**ぜひともPR館にお越しください**

PR館では社会実験の詳しい情報や、これまで行われてきた住民の方々とのワークショップに関する情報をお伝えします。  
大社まち歩きのための観光情報もそろえています。  
温かいお茶とストローで、冷えたからだを温めてください。  
アンケートに答えていただいた方には、抽選で素敵なプレゼントを進呈いたします。

開催日：11月25日～12月5日  
開催時間：平日9時～19時 / 土日9時～17時

日本の神祇の聖地 出雲を元気にするために  
あなたの声を神門通りに反映させてみませんか？

お問い合わせ先  
島根県出雲県土整備事務所 都市整備グループ 0853-30-5665  
出雲県役所まちづくり推進課 大社門前整備室 0853-21-6737

出雲大社門前のシンボルロード

**神門通り交通社会実験** を実施します

平成22年11月25日(木)～12月5日(日)

歩道を拡げて歩道を狭くすることにより  
歩行者の行きかす、にぎわいのある道にするために  
車の歩行速度を低くし、安全な道にします。  
進んで歩きやすく、道の向こう側にも渡りやすくなります。

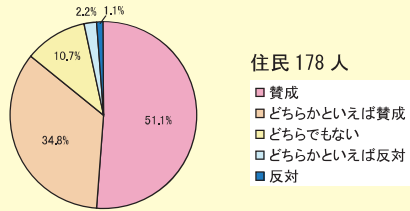
歩いて、車に乗って、体験した感想を  
アンケートに答えて教えてください。

社会実験について、もっと詳しく知りたい方はPR館にお越しください。  
開催日：11月25日～12月5日  
開催時間：平日9時～16時 / 土日9時～17時

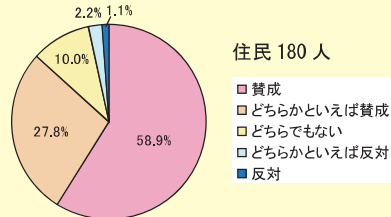
交通社会実験のチラシ

# アンケート調査の結果

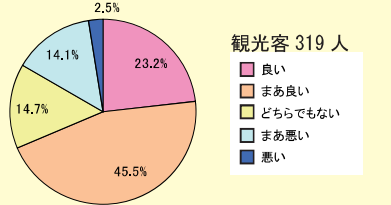
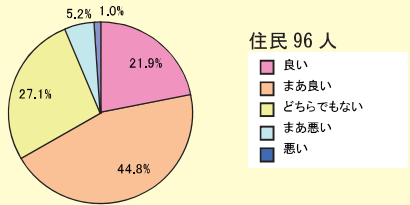
●歩行者が並んで歩きやすく、向かい側の店にも渡りやすくし、人の行きかう賑わいのある道にすることについて



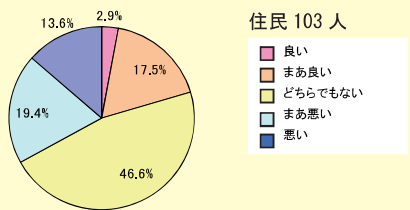
●自動車の走行速度を抑えることで、歩行者にとって安全な道にすることについて



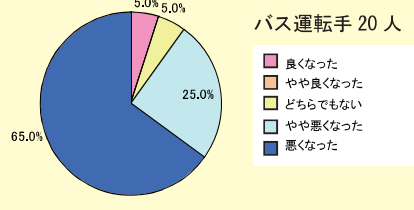
●社会実験中の神門通りと普段の神門通りを比べた歩行環境について



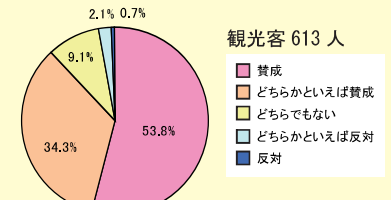
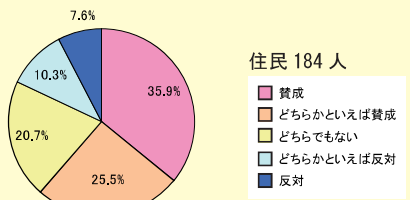
●社会実験中の一般自動車としての走行環境



●バスの走行環境について



●歩道を広くし車道を狭くするような道路空間整備について

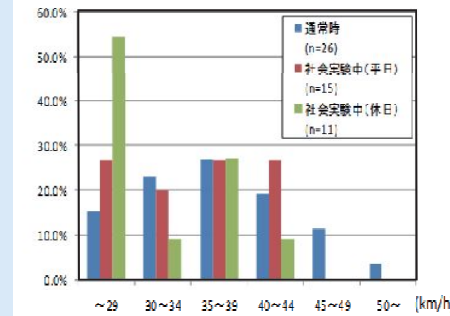


## 自動車の計測

●自動車の速度調査

いずれも経路が本舗前の速度分布

	計測台数	平均速度	最高速度	最低速度	標準偏差
通常時	26台	37km/h	52km/h	21km/h	7.4km/h
社会実験中(平日)	15台	34km/h	42km/h	22km/h	6.4km/h
社会実験中(休日)	11台	31km/h	41km/h	25km/h	5.6km/h



社会実験中(平日)は通常時と比較して平均速度が時速3キロほど低下しており、さらに社会実験中(休日)となると通常時より6キロほど低下していることがわかった。

社会実験中においては最高速度も大幅に低下し、また社会実験中(休日)では時速三十キロ以下で走行する車両が多いことが分りました。

■神門通りの整備の目標を「にぎわいづくり」とし、車のスピードを抑えて、歩行者に安全な道にすることについては、8割以上が支持。

■社会実験中の歩道の拡幅による、歩行環境の改善については6割の方がプラスの評価。

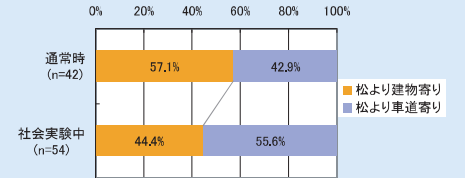
■車の走行環境については、バスの運転手の方からは「悪くなった」という意見が多くありました。その原因は「大型車同士のすれ違い」「路上駐車が増」があげられ、観光バスの通行ルートの改善などの対策を検討しています。

■「歩道を広くし、車道を狭くする道づくり」については、住民の6割、観光客の8割以上の方から賛成していただきました。

# 歩行者動態・自動車の計測結果

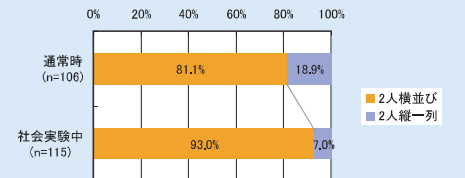
## 歩行者の動態

●松と歩行位置の関係



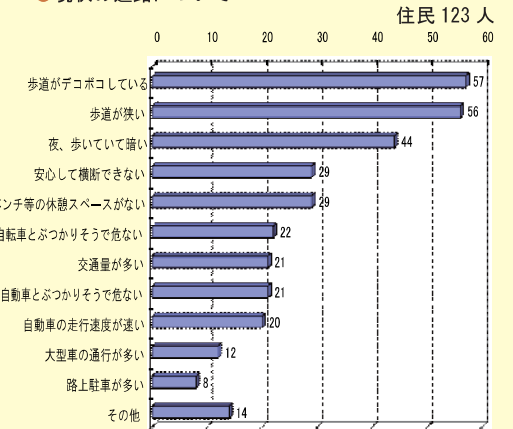
松と歩行位置の関係では、実験中では松より車道側を歩く割合が増加している。

●歩行者の歩行形態



最も多いのは2人組の歩行者である。2人組歩行者の歩行形態では、実験前に比べて縦一列になって歩行する形態から横並びになって歩く割合が増えている。

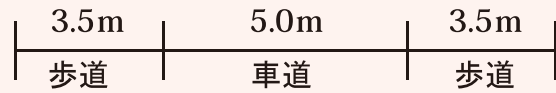
●現状の道路について



# 今後の計画方針

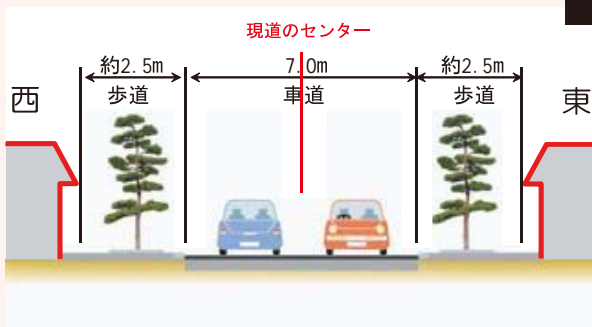
社会実験の結果を踏まえ、歩道 3.5m、車道 5m、中央線なしの計画で道路整備（歩道の拡幅、美装化）を実施します。今後、舗装、照明のデザインなどを検討し、平成 23 年春より工事を開始します。

また、課題となった大型車両の通行については、観光バスのすれ違いを減らすよう、通行ルートの改善に取り組みます。



<計画方針>

<現状>



## 交通社会実験の様子から



普通車の通行に支障なし



歩行者空間のシンボルマーク



路上駐車のマナー改善が課題



大型バスのすれ違いが課題



ゆったり歩ける歩道



ベンチでひとやすみ